

箱抜き方法

スリーブとパイプの間は、コンクリート表面よりシーリング材の打ち代を残してセメントモルタルなどを充填する。

充填したセメントモルタルなどの乾燥および硬化を確認後、シーリング材を充填する。貫通パイプは予め目粗しを行い、状況に応じて表面の脱脂処理を行った状態にし、防水材の補強塗りを行う。

注記：処理方法を重点的に表現するため、縮尺は統一して描かれてはおりません

